

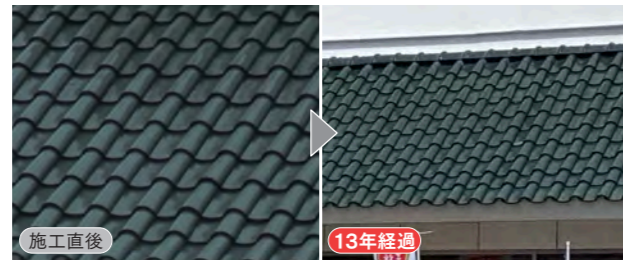
施工事例

上塗りのクリヤー

塗料で着色した上にタフグロスコートを塗装していただくことで、色と艶を長期間に渡り保持します。



経年経過



基材に直接塗装

タフグロスコートには、色を付けずにタフグロスコートのみを直接塗装する仕様もあります。瓦の劣化を防ぐだけでなく、意匠性のある屋根材などを、建築当初の新品のような仕上がりにし、屋根材の寿命を延ばすことができます。



ラインナップ

艶を3種類からお選びいただけます。



高い艶 ← 艶有 半艶有 3分艶有 → 低い艶
光沢が、華美な印象を与えます 自然で落ち着いた艶感に仕上がります

■対応基材 幅広い屋根材に塗装していただけます

陶器系 化粧スレート 乾式コンクリート瓦 高分子繊維強化セメント プレスメント瓦 金属

仕様表(上塗りのクリヤー塗料)

混 合 比	A液(主剤):B液(硬化剤)=6:1
ポ ッ ト ラ イ フ	5時間以内(20℃)
希 釈 剤	ORマイルドシンナー
希 釈 率	刷毛・ローラー……0~20% エアレス・エアスプレー……10~30%
塗 布 面 積	85~125㎡/14kgセット 1回塗装
塗 布 量	0.11~0.16kg/㎡ 1回塗装
内 容 量	A液12kg、B液2kg A液4kg、B液0.67kg
組 合 せ 上 塗 り 塗 料	スタンダードシリーズ(弊社二液弱溶剤型塗料) クールくんシリーズ(弊社二液弱溶剤型塗料)
塗 装 間 隔	3時間以上(推奨:12時間以上)

仕様表(基材に直接塗装)

混 合 比	A液(主剤):B液(硬化剤)=6:1
ポ ッ ト ラ イ フ	5時間以内(20℃)
希 釈 剤	ORマイルドシンナー
希 釈 率	刷毛・ローラー……0~20% エアレス・エアスプレー……10~30%
塗 布 面 積	43~63㎡/14kgセット 2回塗装
塗 布 量	0.22~0.32kg/㎡ 2回塗装
内 容 量	A液12kg、B液2kg A液4kg、B液0.67kg
塗 装 間 隔	3時間以上(推奨:12時間以上)

⚠ 注意事項

〈使用上の注意〉

- 極端な降雪地区や海岸沿いでの塗装は避けてください。
- 十分に攪拌してからご使用ください。
- 他の塗料と相溶性がありませんので絶対に混合しないでください。
- 主剤と硬化剤を混合後、直ちに攪拌してください。ゲル化の危険性があります。
- 硬化剤混合後、5時間以内にご使用してください。
- 朝夕の結露時期、被塗物が異常に高温の時(60℃以上)、降雪雨の予想される時は塗装を避けてください。
- ミスト等の飛散により周辺を汚し、トラブルとなる事があります。塗装ミスト等が飛散しないように十分な養生を行ってください。
- 塗料の特性上、厳しい気象条件では可使用時間が極端に短くなる場合があります。特に、高温多湿の下で使用される場合は硬化剤と混合後はできるだけ速やかに使用してください。
- タフグロスコートはなるべく専用シンナーでのご使用を推奨いたします。
- 塗料では瓦の割れの補修及び防止はできませんので、割れの発生している瓦への塗装は避けてください。また、凍破を防止することはできませんので、ご注意ください。
- タフグロスコートは屋根用です。屋根以外の部位へのご使用は極力避けてください。
- タフグロスコートは透明です。塗り忘れには充分ご注意ください。
- 半艶・3分艶有タイプは、はけ、ローラーで塗装の場合むらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- 半艶・3分艶有タイプでは、塗り継ぎや補修で艶むらが出やすいので、面を切って塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来の艶が発現しない恐れがありますので、規定の希釈量を守ってください。
- 半艶・3分艶有タイプは被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- 半艶・3分艶有タイプは、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜攪拌しながらご使用ください。
- 半艶・3分艶有タイプを基材に直接塗装した場合、基材の吸込みや塗布量の不足によって白化して仕上がる場合がありますが、2回目を塗装することで改善します。
- 3分艶有タイプは、角度によって白ぼけて見える場合がございます。

〈安全衛生上の注意〉

- 取扱いは、火気のない所で行ってください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスクをご使用ください。
- 取扱中はできるだけ直接触れない様にし、必要に応じて保護具(保護メガネ、長袖の作業着、保護手袋など)を着用してください。
- 作業中、気分が悪くなった時は、清浄な空気のある場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。
- 容器は中身を使い切ってから、地方・国の規則に従って廃棄してください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合は、砂などを散布した後、地方・国の規則に従って廃棄してください。

 **ORIENTAL PAINT INDUSTRY**

オリエンタル塗料工業株式会社 〒547-0001 大阪府大阪市平野区加美北4-5-38 TEL.06-6791-4031 FAX.06-6791-4034

第1工場 〒547-0001 大阪府大阪市平野区加美北4-9-5
第2工場 〒547-0001 大阪府大阪市平野区加美北4-5-38 TEL.06-6791-4031 FAX.06-6791-4034
東日本営業所 〒343-0036 埼玉県越谷市三野宮476ミルトラル1番館102号 TEL.048-940-3927
福岡営業所 〒814-0161 福岡県福岡市早良区飯倉3-29-8 TEL.092-831-2281

<https://oriental-toryo.jp/>



2025.02.5.000.SUN

屋根塗り替え塗料のパイオニア

 **ORIENTAL**

仕上げのクリアーコーティングで屋根を強力に保護

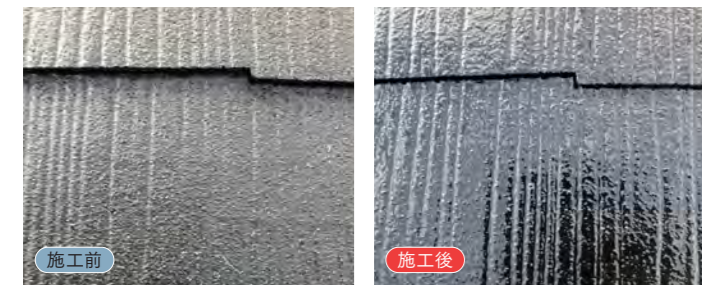
屋根は塗装するだけでも屋根を保護する効果を発揮しますが、過酷な屋外環境下では経年で変色しやすいことが知られています。タフグロスコートは非常に強靱な保護膜を形成するので、着色層の保護に有効で、結果的に屋根材を長期にわたり保護することができます。

- 無機タイプ
- 超高耐候
- 変色防止
- 防藻・防カビ

超高耐候クリアー仕上げ

タフグロスコート

近年の猛暑、オゾン層破壊による紫外線量の増加、酸性雨、豪雨などの異常気象は、年々激しさを増しています。特に屋根は、それらの影響を直接に受けるため、常に過酷な環境に曝されています。そんな中『厳しい自然環境から屋根の美観を長く守りたい』という想いで、超高耐候性を実現する『タフグロスコート』を開発しました。

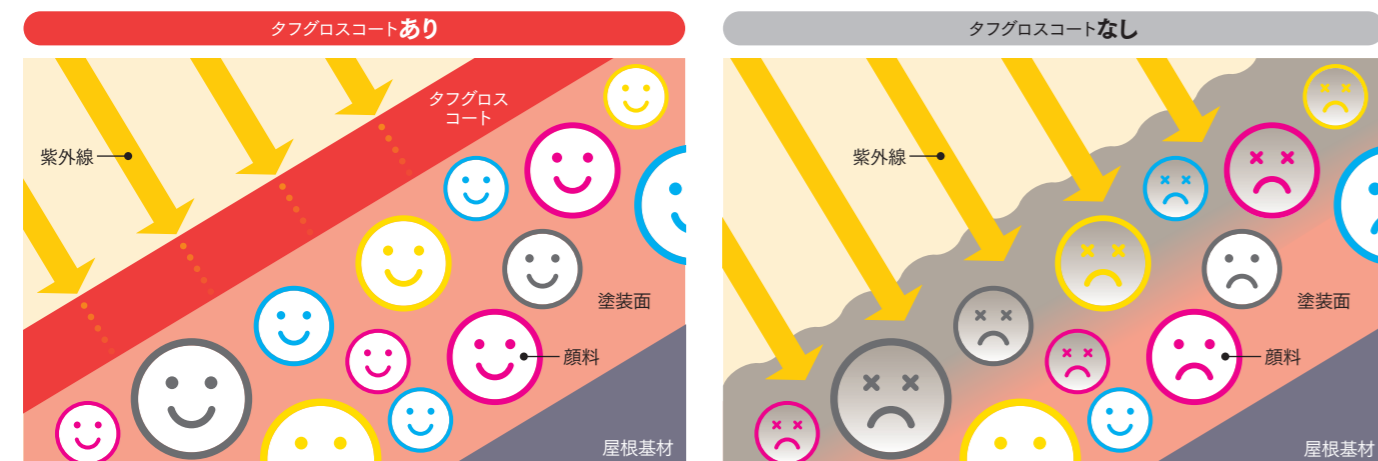


期待耐用年数約20年 業界初の屋根用クリアー

無黄変タイプの樹脂を使用

実ばく実績15年以上

塗装後の塗膜は、太陽光の強力な紫外線や雨風に日々曝されており、このような厳しい環境下では経年とともに美観の維持が困難になっていきます。この状況を改善するために開発されたのが、タフグロスコートです。この塗料は、着色した上塗り塗料の上をさらにコーティングするための透明なクリアー塗料で、例えば自動車なども最終工程でクリアーコーティングを施工することで長期間の耐候性と美観の維持を可能としています。「様々な分野でその有効性を発揮しているクリアーコーティングを、屋根にも応用できないか」というアイデアのもと、屋根塗料の専門メーカーが研究・開発した屋根用クリアー塗料、それがタフグロスコートです。



特徴・用途

無機タイプ

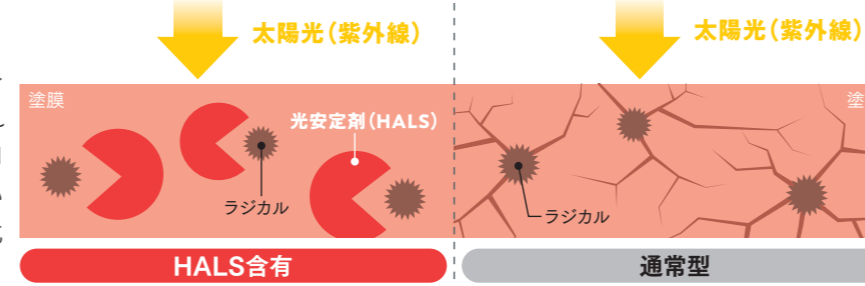
純度の高いシリコン樹脂で余分な物を省き、クリアー性能だけを追求。結果強靱な塗膜を形成し上塗り塗膜をしっかりガードします。

変色防止

仕上げにタフグロスコートを施工することで着色塗膜を保護し、顔料の劣化を遅らせ変色や退色を防止。塗装直後の色・艶を長期間維持します。

光安定剤 (HALS)

塗膜は、太陽光の影響でラジカルと呼ばれる自身の劣化を促進する物質を発生させることが知られています。しかしタフグロスコートは、ラジカル抑制効果の高いHALS(光安定剤)を含有させているため、ラジカルをしっかりと制御し、塗膜の劣化を抑制します。



超高耐候

タフグロスコートは上塗り塗料のチョーキング等の劣化を防ぎ耐候性能を更にアップ。その効果は一般的なフッ素塗料を上回ります。

防藻・防カビ

塗装表面での藻やカビ菌の定着を軽減。美観を長期間維持します。

経済性

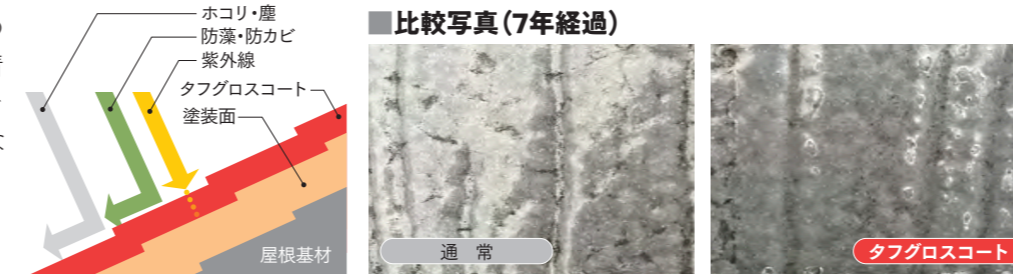
一般的に家屋の塗り替えの際にかかる費用の大半が足場代や施工を行う為の人件費となります。タフグロスコート仕様は超耐候性で塗替え周期が長く、長期間大切な屋根の美観維持が可能となります。その結果、塗り替えの周期を減らすことが可能となりコストパフォーマンスに優れています。

塗替えで発生するコストの比較表	塗料の性能			
	タフグロスコート	フッ素系塗料	シリコン樹脂塗料	ウレタン樹脂塗料
期待耐用年数	約20年	約15年	約10年	約7年
塗替え回数	2回	2.5回	4回	約5.5回
1回の塗替えコスト	低	中	高	最高
40年間の塗替えコスト	最低	中	高	最高

※コストの比較表は目安です。

防藻・防カビ性

タフグロスコートは、藻・カビなどの菌を雨水などで流れやすくし、定着を軽減する効果が期待できます。その結果、長期の美観維持が可能となります。

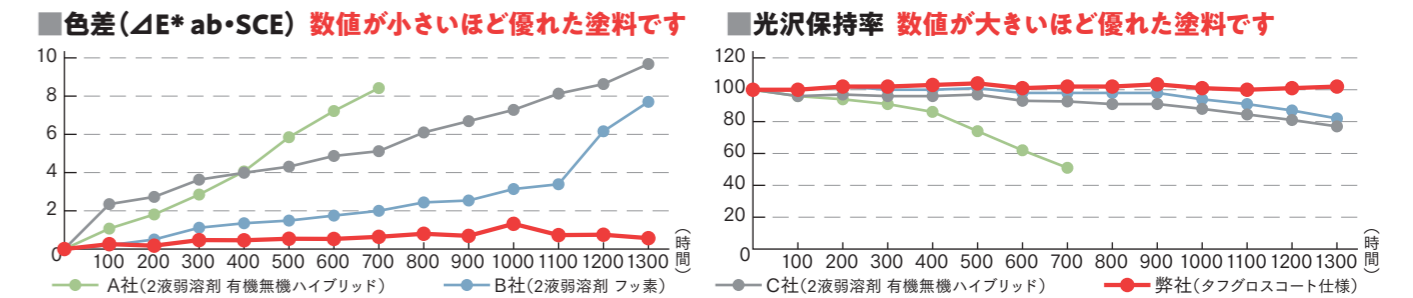


※塗膜下での既存の菌の繁殖を防ぐ効果はありません。※すべての菌の繁殖を抑制するものではありません。※イラストはイメージです。

性能

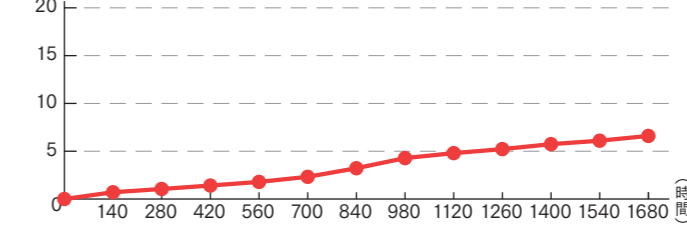
促進耐候性試験

機械を用いた耐候性試験です。
●色差=経年で起こる色褪せを数値化したもの ●光沢保持率=経年での艶の保持率を確認しています。

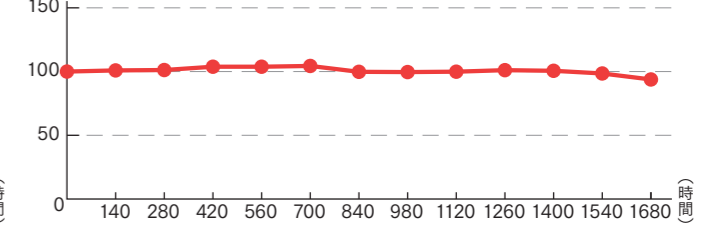


一般的に耐候性が弱いとされている青系の塗料でも試験を実施しました。20年相当の試験結果でもこのように良好な結果を示しています。

色差(ΔE*ab·SCE)



光沢保持率



■試験条件/アイスーパーUVテスター-SUV-W151 照度100mW/cm² 照射時の温度63℃、湿度50% 1サイクル照射4時間+結露1時間
※上記結果は促進ばく露試験によります。実曝での塗膜の劣化は、立地条件や気象条件の影響を受け、変化する場合があります。

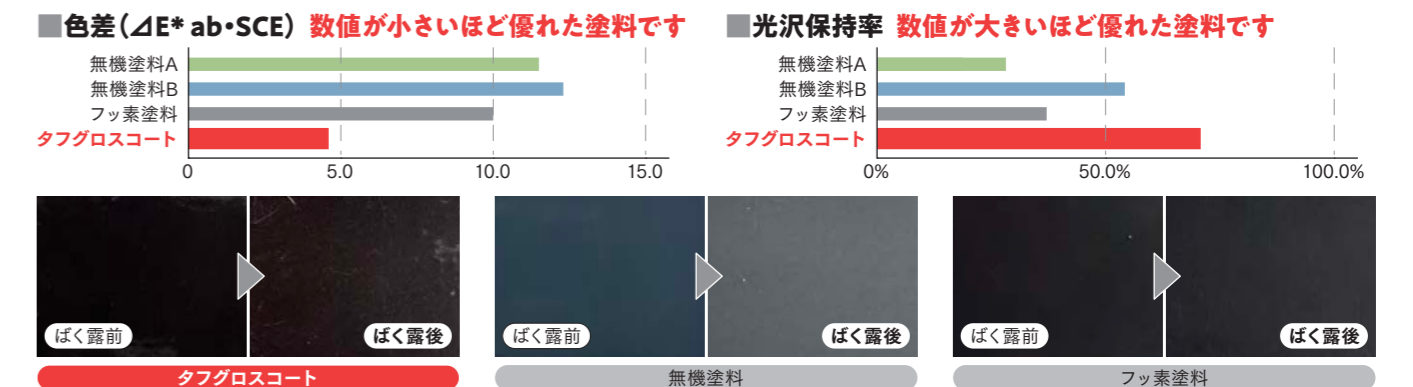
屋外ばく露試験体(タフグロスコート)

実際の屋根の条件に従って11年間屋外に晒した試験体です。タフグロスコートが上塗り塗料を保護し、通常褪色が早いとされているようなこれらの色も、長期にわたって色と艶を保持しています。



屋外ばく露試験体(他社塗料との比較)

他社の無機・フッ素塗料(3種)と、弊社のシリコン塗料にタフグロスコートを塗布した試験体を、実際の屋根の条件に従って9年間屋外に晒した試験結果です。タフグロスコートは、無機塗料と比べても遜色のない耐候性を発揮しています。



■試験条件/自社工場(大阪市)の屋上南向き45度(JIS規格K5600相当)